

2026年5月1日

日本機械学会関西支部会員の皆様

関西支部シニア会会長 谷川雅之  
理科工作教室代表 高岡大造

## シニア会「親と子の理科工作教室」に対する御寄付のお願い

### 1. 趣旨

日本機械学会関西支部シニア会では、シニアの知識と経験を生かした社会貢献活動の一環として、小中学生に理科工作の面白さの体験から、工学さらには機械工学に対する関心を持ってもらおうと、有志が集まり「親と子の理科工作教室」を2008年に開始して以来18年が経過しました。この間にはCOVID禍による活動休止の3年間もありましたが、2025年度末で児童・生徒の累計参加者は約8,200名と、活動は順調に継続・拡大してきました。なお、開催実績の推移については、日本機械学会関西支部HP→関西支部シニア会→親と子の理科工作教室→理科工作教室の近況→資料1 理科工作教室実績表 (<https://jsmekansai.org/Seniorswc/record.pdf>) をご覧下さい。

昨年度は、一般教室で17会場20教室39テーマ、409名の参加がありました。各会場からは高評価を受けています。また、若手メンバーへのテーマの継承とテーマの改良や新規テーマの創出を目的に「開発会議」を立上げ、歩行動作を改良した「ジョギングロボくん」を大津市科学館で開催した教室で工作指導を実施しました。「開発会議」では、対象学年を中高校生まで広げるために制御技術を組み込んだ「ぶつからない自動車」の開発も行うことができました。その他にも、いくつかのテーマの開発・改良を進めています。

実施してきた各会場での活動の評価が他の地域・機関にも広がり、今年度は新たに3会場を追加し、20会場25教室49テーマの実施を計画しています。

現在実施可能なテーマは約40テーマあり、例えば、

- ・低学年対象に回転ブランコ・風力発電・ミニブタレース・ペンギンロボット
- ・高学年対象に新幹線電車・二足歩行ロボット・マイコン搭載コロコロ距離計

などです。これらのテーマを実施することによって、モノ作りを介して参加児童が「機械」に興味を持つような教室になるようメンバー全員尽力しています。

さて、工作教室に使う教材はテーマ担当者が手作りで準備することをモットーとしていますが、原材料・エネルギー価格高騰等の影響から、材料購入費が暴騰(例えばモータ1個¥150だったのが¥400)しています。材料購入費だけではなく、教材運送費や交通費も同様です。また、メンバーの高齢化に伴うテーマの継承・刷新が必要となり、開発費用も発生します。これらに要する費用は、参加費の徴収、会場からの謝金、本部所轄の機械工学振興事業資金助成や関西支部からの交付金に加え皆様方からのご寄付で賄っています。つきましては、昨年度と同様に本趣旨にご賛同頂ける支部会員の方々よりご寄付を募りたく、御協力の程よろしくお願い申し上げます。

### 2. 御寄付の受付について

- ・受付期間 … 2026年5月1日～2026年12月末日まで
- ・金額 … 一口1,000円(何口でもお申込みいただけます)
- ・送金手順

①添付の「機械工学振興事業資金 特定資金寄付申込書」をダウンロードして必要事項をご記入のうえ、本部へメールにて送付してください。

メールアドレス：[finance@jsme.or.jp](mailto:finance@jsme.or.jp)

②ゆうちょ銀行備え付けの払込取扱票で、通信欄に「機械工学振興事業資金特定資金寄付金」と明記し、①の申込書送付日をご記入のうえ送金してください。

振込先：郵便振替 00130-1-19018 口座名義：一般社団法人日本機械学会

- ・なお、本寄付金は免税措置の対象事業ではありませんので、予めご了承下さい。

以上

## 機械工学振興事業資金 特定資金寄付申込書

寄付の目的	「機械及び機械システムとその関連分野に関する学術技芸の進歩発達をはかり、もって人類社会の発展と安寧及び福祉の向上に貢献することを目的とする以下の事業に対して該当するものに○印をお願いします。 1. 集会事業の企画・実施 2. 研究・調査活動の実施 ③ 人材育成・教育ならびに普及・啓蒙活動 4. その他 具体的にご記入ください。 ( )
実施事業名	関西支部シニア会「親と子の理科工作教室」
企画支部名	( 関西 ) 支部
開催日・活動期間	2026年3月1日 ~2027年2月28日
ご寄付者 会員氏名(フリガナ)	
会員番号	
ご寄付額	金 円也
送金予定日	年 月 日に送金します。 振込先：郵便振替 00130-1-19018 口座名義：一般社団法人 日本機械学会 *1.振替用紙の通信欄に「機械工学振興事業資金特定資金寄付金」と明記し、本申込書の送付日をご記入ください。 *2 振込手数料はご負担ください。

本部事務局使用欄				
No.	入金日	入金額	支部送金日	担当